AD BANK Corporate Social Responsibility

常に時流に乗り、さらに、さらに、上を行くサービスを

AD BANK CSR & SDGs
since 1999

環境報告書 2024年6月（25期）

CSR Corporate Social Responsibility & SDGs Sustainable Development Goals

2018年6月　第１版発行
2020年6月　第２版発行
2021年6月　第３版発行
2022年6月　第４版発行
2023年6月　第５版発行
2024年6月　第６版発行

経済産業省認定

地域未来牽引企業 2020年12月選定

2020年1月受賞

レジリエンス認証 2022年 7月更新

2024 健康経営優良法人 Health and productivity ブライト500 2024年4月認定
ブライト500 4年連続認定

OMOTENASHI 2023年6月更新

攻めのIT経営中小企業百選 2016年6月受賞

IT百撰最優秀 2016関西IT百撰最優秀賞受賞

オスカー認定 KYOTO 2017年9月認定

ISO26000対応 SDGs Follow-up and review JCSRA 2023年 8月判定

推進宣言事業所 2020年 8月交付

環境推進工場 本社・工場ｔ-185 2023年 2月認定

CSR 2022年 9月認定

ご挨拶



代表取締役　渡邉　功

「地球環境の調和、環境対応企業を目指して」

アドバンクは企業活動と地球環境の調和を目指して「環境方針」に基づき営業活動を行っており、私たちは常に環境に優しく実用性のある製品を提供したいと考えます。
環境に配慮した素材・技術・製品の提供を柱とし、全社員が意識して活動をしております。

地球に対し完全に無害な生活を送ることは困難ですが、少しの心配りで環境配慮への取り組みができると考えます。

1. 製品の素材そのものが環境にやさしいこと
2. その製品を長く愛用頂くこと（Use&Re-Use）
3. ゴミとして廃棄する際の環境への影響を減らすこと

当社では、新技術として輪転ＬＥＤ－ＵＶ印刷、デジタル化、無現像処理版を積極的に提案、推進していきます。また、環境に対しての社会的責任を自覚するとともに、環境優良工場　大臣賞の取得を目指して環境活動を行っていきます。

経営理念

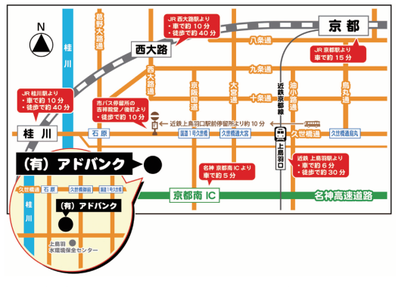
私たちは進化する技術の継承とおもてなしの心で、お客様と共に豊かな未来を創造します。

品質方針

1. 常に最高の品質を目指します。
2. 常にスピードを意識し行動します。
3. 常にコストの削減に努めます。
4. 常に自分の限界に挑戦します。
5. 私たちはこれらを共有し、継続します。

会社情報

会社名	有限会社アドバンク
所在地	〒601-8363 京都市南区吉祥院嶋野間詰町 52 番地
	TEL 075-694-1312　FAX 075-694-1313
	E-mail: info@adbank.co.jp
資本金	300 万円
役　員	会　　長　宮　脇　一　美
	代表取締役　渡　邉　　功
設　立	1999 年 6 月 3 日
取引銀行	京都銀行・日本政策金融公庫
	滋賀銀行・京都中央信用金庫 他
従業員数	25 名（パート・派遣 7 名含む）



京都市バス 84 系統　京都駅八条口アバンティ前発
葛野大路通　太秦天神川駅行き
吉祥寺堂ノ後町　下車　徒歩約 10 分

環境方針

◆ 基本理念

アドバンクは、企業活動と地球環境の調和を目指して、全社員が環境問題に積極的に取り組み、この取り組みを継続的に改善していきます。省資源・省エネルギーを実現することで、社会の安全と発展に貢献する印刷企業として社会的責任を果たします。

◆ 行動指針

1. 環境関連法規の遵守
   事業活動にあたって、法規制、条例およびその他の要求事項を遵守します。
2. 資源・エネルギーの効率的活用
   事業活動にあたって、資源およびエネルギーの有限性を深く認識し、それらを効率的に利用し、リデュース（廃棄物の発生抑制）・リユース（材料等の再使用）・リサイクル（材料等の再生利用）の徹底に取り組み、環境負荷の低減と環境汚染の予防に努めます。
3. 環境目的及び目標の設定と継続的改善
   環境方針に基づき環境目的、目標を定め、これを実行し、見直すことにより、継続的改善を図ります。
4. 環境方針の周知と公開
   全従業員（役員、社員、パートなど当社全作業者を含む）に対し環境教育等の啓発活動を行い、環境方針の周知徹底を図るとともに、環境方針を社外に公開します。

2019年1月7日制定
有限会社アドバンク
代表取締役　渡邉 功

個人情報保護方針

有限会社アドバンクは、" 私たちは進化する技術の継承とおもてなしの心で、お客様と共に豊かな未来を創造します " という経営理念の下、あらゆる個人情報について適切に保護し、管理いたします。

1. 当社の事業内容及び規模を考慮した適切な個人情報の取得、利用及び提供を定めた社内規則を遵守します。また個人情報の利用および提供は、取得時に特定された利用目的の範囲内とし、その範囲を超えた個人情報の取扱い（目的外利用）は行わず、目的外利用防止のための措置を講じます。
2. 当社は、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失・破壊・改ざん及び漏えいなどに関して予防処置を講ずると共に、万一の発生時には速やかな是正処置を実施します。
3. 当社は個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針及びその他の規範を遵守します。
4. 当社では、個人情報の取扱い及び個人情報保護マネジメントシステムに関して、ご本人からの苦情及び相談を受付、適切かつ迅速に対応します。
5. 当社は個人情報管理の仕組み（個人情報保護マネジメントシステム）を継続的に改善します。

◆ 特定個人情報保護方針

1. 特定個人情報を法の定める目的に必要な範囲に限定して取得。利用目的を明らかにした範囲内において利用し、あらかじめ特定した利用目的を超えて第三者に提供することは致しません。
2. 特定個人情報への不正アクセス、特定個人情報の紛失・破壊・改ざん及び漏えいなどの予防及び是正のために規程を整備・改善し、安全管理措置を実施致します。

2019年1月7日制定
有限会社アドバンク
代表取締役　渡邉 功

CSR 方針

1. 当社にとって重要なステークホルダーの期待に応えます。
   (1)お客様
   ・期待に応える品質および最適なソリューションを提供します。
   ・そのための知識と技術の習得と向上を心がけます。
   (2)地域の皆様
   ・地域の一員として地域課題の解決に積極的に取り組みます。
   (3)社員
   ・ワークライフバランスに配慮し、働きやすい職場を作ります。
   ・多様性を尊重する職場にします。
   ・社員が互いに配慮し合う心理的安全性が高い職場づくりを進めます。
   (4)取引先
   ・価値を分かち合える関係づくりを進めます。
   (5)すべてのステークホルダー
   ・本業を通して環境保全活動を進めます(リサイクル・ゴミ分別・CO2削減)。
   ・法令を遵守します。
2. 目的・目標の達成
   ・効果的なCSRの為に設定された目的及び目標の達成に力を尽くします。
3. 継続的改善
   ・CSRマネジメントシステムの継続的改善に努め、CSRの成果を常に向上させることを企図します。
4. コンプライアンス
   当社は、CSR(企業の社会的責任)に取り組み、現在及び将来にわたって適用されるすべての法令・条例・コンプライアンスを遵守します。

2022年7月1日制定
有限会社　アドバンク
代表取締役　渡邉　功

社員のための倫理的行動規範

1. 誠実な社風
   私たちは、誠実さを第一に、行動します。
2. 倫理法令遵守
   法を守るという最低限の行動ではなく、高い倫理観をもって職務を遂行します。
3. 差別およびハラスメントを容認しない
   社員ひとりひとりが互いをパートナーとして尊重しあい、差別やハラスメントを職場から排除します。
4. 公平な競争
   資材の調達、契約の交渉および履行を中心としたすべてのビジネス行為において、誠実さと公平性をもって臨みます。
5. 利害の対立の回避
   利害関係にとらわれず、常に公平・公正な立場からの価値判断を行い、公私のけじめをつけ行動します。
6. 情報や資産の保護
   当社ならびに顧客、取引先の情報や資産を取り扱う際には、最大の注意と敬意を払います。会社資産の私的流用も行いません。
7. 環境・健康・安全の保護
   職場環境、地域環境、地球環境の保全に努めます。
8. 反社会的活動の根絶
   反社会的な行い、活動に関しては毅然とした態度を貫きます。

2022年7月1日制定
有限会社　アドバンク
代表取締役　渡邉　功

SDGs 持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称で、世界が2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標として「持続可能な開発目標」と訳され、2015年のミレニアム開発目標(MDGs:Millennium Development Goals)から引き継がれ、2015年9月の国連会議で日本を含む世界193カ国が合意し採択されました。MDGsが途上国の貧困・飢餓の撲滅や教育の確保に主眼を置いていたのに対し、SDGsはすべての国・地域を対象とし、目標の追加として経済危機、気候変動、伝染病、難民や紛争などへの対処に力点を置いています。

SDGsは、パートナーシップと実用主義の精神に基づき、地球環境や機構変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための、世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標であり、すべての国がそれぞれの優先課題や、全世界的な環境課題に応じて採用できる明確なガイドラインや17の目標と各目標を実現するための169のターゲットが設けられており、いま正しい選択をすることで将来の世代の暮らしを持続可能な形で改善することを目指しています。

貧困や飢餓、健康や教育、さらには安全な水など開発途上国に対する開発支援

1. 貧困をなくそう
世界が健康と教育の改善に向けた行動を取らなければ、2030年までに1億6,700万人の子どもが極度の貧困の中で暮らすことになる...

2. 飢餓をゼロに
飢餓に苦しむ7億9,500万人と2050年までの予測世界人口増加分の20億人の食料確保には、グローバルな食料・農業システムの根本的な変革が必要!

3. すべての人に健康と福祉を
予防接種に10億ドルを費やせば、毎年100万人の子どもの命を救うことができる!

4. 質の高い教育をみんなに
途上国の小学校就学率は91%に達した一方、依然として5,700万人の子どもが学校に通えていない!

5. ジェンダー平等を実現しよう
上級・中級管理職に占める女性の割合は、平均で3人に1人に達していない!

6. 安全な水とトイレを世界中に
世界人口の10人に3人が、安全に管理された飲料水サービスを利用できていない!

エネルギー、働きがいや経済成長など社会的活動

7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
全世界の人々が電球を省エネ型に変えれば、世界は毎年1,200億ドル節約できる!

8. 働きがいも経済成長も
世界の生産年齢人口の増大に合わせて、毎年、労働市場への新規参入者に提供する必要のある雇用の数は3,000万件!

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
産業化による雇用増加作用は社会に好影響を与える。製造業で雇用が1件増えるごとに、他の部門で2.2件の雇用が生まれる!

10. 人や国の不平等をなくそう
世界人口のいずれの部分を除いても、持続可能な開発を達成することはできない!

11. 住み続けられるまちづくりを
2030年までに50億人が都市で暮らすことになると予測されている!

12. つくる責任 つかう責任
世界人口が2050年までに96億人に達する場合、現在の生活様式を維持するには地球と同じ惑星がほぼ3つ必要!

気候変動、海や陸の話まで出てくるので、開発途上国や先進国だけの話ではなく、もっと包括的な課題

13. 気候変動に具体的な対策を
パリ協定により、新興市場で気候変動対策に対応する投資として、23兆米ドルに相当するビジネスチャンスが生まれた!

14. 海の豊かさを守ろう
海洋と沿岸の生物多様性に生計を依存する人々は30億人を超えている!

15. 陸の豊かさも守ろう
16億人近くが生計を森林に依存し、その中には7,000万人の先住民が含まれている!

16. 平和と公正をすべての人に
SDGsを達成するには、平和で公正かつ包摂的な社会が必要!

17. パートナーシップで目標を達成しよう
各国が定めた開発の優先課題と成果に見合う開発協力を行うには、特に脆弱な国々でより一層の取り組みが必要!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

CSR関係キーワード

【CSR】(Corporate Social Responsibility)=企業の社会的責任
企業は社会を構成する「企業市民(Corporate Citizen)」であり、社会を構成する一員としての社会的役割と責任がある、という考え方。企業が提供する商品やサービスには違いがあることから、企業の取組みは、人権尊重、法令遵守、情報開示、環境への配慮、社会貢献活動などに関し、業種により多種多様になる。

【ISO26000】
ISO(国際標準機構)は、工業標準の策定を目的とする国際機関で、さまざまな規格の標準化を行っている。よく知られたものとして、品質管理に関するISO9000、環境に関するISO14000などがある。また、ISOでは、「社会的責任(SR=Social Responsibility)」に関する規格化の作業を進めていたが、ISO26000として2010(平成22)年11月1日に発行した。

【JIS Z 26000】
「社会的責任(SR=Social Responsibility)」に関する国際規格ISO26000をJIS(日本工業規格)化したもの。ISO26000発行後、国内のさまざまな関係者から、ISO26000を広く普及させることを目的にJIS化を求める声があがり、経済産業省は、ISO26000の内容をそのままにJIS化を進め、2012(平成24)年3月21日に官報に公示した。企業をはじめ、地方公共団体、医療機関、学校、NPOなどのあらゆる組織が“社会の一員”として持続可能な発展(サステナビリティ)に貢献するための指針(ガイダンス)となる内容になっている。あらゆる組織が守るべき「7つの原則」(説明責任、透明性、倫理的な行動、ステークホルダーの利害の尊重、法の支配の尊重、国際行動規範の尊重、人権の尊重)と、取り組むべき「7つの中核主題」(組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者問題、コミュニティへの参画およびコミュニティの発展)を掲げ、それぞれの中核主題には、社会的責任におけるさまざまな課題が含まれている。

【コンプライアンス】(Compliance)=法令遵守
企業・団体が、関連する法令や諸規則を守ること。さらには、社会的な良識や規範、倫理を守ることが含まれることもある(その場合は、“法令等遵守”と呼ばれる)。

【ステークホルダー】(Stakeholder)=利害関係者
消費者、従業員、株主、取引先、地域社会など、企業を取り巻く利害関係者を意味する。広く社会全体や地球環境を含む考え方もある。

【トリプル・ボトムライン】(Triple Bottom Line[TBL])
ボトムラインとは、決算書の最終行、つまり、収益・損失の最終結果を意味する言葉。トリプル・ボトムラインとは、企業活動を「経済」・「環境」・「社会」の3つの視点から捉えて評価するという考え方。この考え方は、英国のサステナビリティー社(環境コンサルティング会社)のジョン・エルキントン氏によって初めて提唱された。

【グローバル・コンパクト】(Global Compact)
グローバル・コンパクト(GC)は、企業が守るべき原則として、国連のアナン事務総長(当時)が1999(平成11)年1月の「世界経済フォーラム」(ダボス会議)で提唱した。当初、「人権」「労働基準」「環境」の3分野の9原則であったが、2004(平成16)年6月に「腐敗防止」に関する原則が追加され、現在は4分野・10原則となっている。
GCに自主的に参加する企業は、年1回は、原則支持のためにどのような努力をしたのかを国連に報告する。国連は、他の企業などの参考とするため、各GC参加企業の報告をインターネット上で公表している。

＊国連グローバル・コンパクト事務局ウェブサイト(英語)　http://www.unglobalcompact.org/
＊グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン ウェブサイト(日本語)　http://www.ungcjn.org/

グローバル・コンパクト /4 分野 -10 原則

【人 権】	原則 1. 企業は国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである 原則 2. 企業は自らが人権侵害に加担しないように確保すべきである
【労 働】	原則 3. 企業は結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである 原則 4. 企業はあらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである 原則 5. 企業は児童労働の実効的な廃止を支持すべきである 原則 6. 企業は雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
【環 境】	原則 7. 企業は環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである 原則 8. 企業は環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきある 原則 9. 企業は環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである
【腐敗防止】	原則 10. 企業は強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである



2019 年 7 月　関西 SDGs プラットフォームに賛同
2021 年 7 月　SDGs 成熟度評価基準　2 つ星判定
2023 年 8 月　SDGs 成熟度評価基準　3 つ星判定





働き方改革

◆健康経営

2013年～　従業員は毎年全員、健康診断を受けています。

2017年10月　全国健康保険協会京都支部　京(きょう)から取り組む健康事業所宣言

2018年 4月　京(きょう)から取り組む健康事業所宣言 更新

2018年2月　健康経営優良法人2018 認定



京から取り組む
健康事業所宣言 宣言証

2019年2月　経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2019」に認定されました。

2020年2月　経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2020」に認定されました。

2021年3月　経済産業省と日本健康会議が共同で選定する
「健康経営優良法人2021 ブライト500」に認定されました。

2022年3月　経済産業省と日本健康会議が共同で選定する
「健康経営優良法人2022 ブライト500」に認定されました。



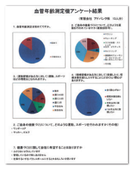
健康経営優良法人 2024 認定証

2023年3月　経済産業省と日本健康会議が共同で選定する
「健康経営優良法人2023 ブライト500」に認定されました。

2024年3月　経済産業省と日本健康会議が共同で選定する
「健康経営優良法人2023 ブライト500」に認定されました。
※2018年より7年連続の認定です。
(ブライト500　4年連続認定)


血圧測定


血管年齢測定



血管年齢測定
アンケート

2018年 3月・2019年2月　全国健康保険協会京都支部にて機材レンタル
・血管年齢測定・血圧測定

2019年12月・2020年9月　骨健康度測定

2022年8月　糖化度測定

2023年9月　疲労ストレス度計測


糖化度測定



ウォーキングキャンペーン
パンフレット


ウォーキングキャンペーン
企業内ランキング

2018年　3月・7月・10月
2019年　2月・6月・10月
2020年　2月・10月
2021年　2月・6月・10月
2022年　2月・6月・10月
2023年　2月・6月・10月
2024年　2月・6月
　ウォーキングキャンペーン参加
　※ウォーキングキャンペーンとは、大同生命様が提供する、
　「KENCO SUPPORT PROGRAM」の一環で、健康増進に取り組む一大イベントです。

2022年11月　TEIKOKU NEWS weekly 11月14日号に、弊社が健康経営優良法人
2022に選定され、5年連続の受賞(ブライト500　2年連続)となった
ことが掲載されました。



TEIKOKU NEWS weekly 11月14日号



2022年 1月　「スポーツエールカンパニー2022」
オリジナル認定

2022年10月7日　健康経営アドバイザー認定
2023年3月　DAIDO KENKO AWARD2023認定
2024年4月　DAIDO KENKO AWARD2024認定
(2年連続認定)



DAIDO KENKO AWARD
2024 認定証



健康経営アドバイザー
認定証





◆BCP(事業継続計画)

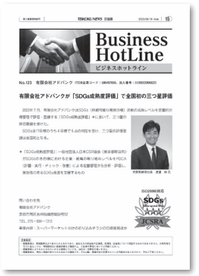
2018 年 7 月　BCP(事業継続計画)の策定
弊社は人命の安全や、企業としての社会的責任を遂行するとともに、従業員の雇用を守り、お客様へサプライヤー
としての使命を果たすことを目標に、今後発生が予想される大震災や新型インフルエンザ等に備えてまいります。

2018 年 10 月　セコム蓄電池設置(POWER YIILE3)
※突然発生する災害や停電時に安全性の高い蓄電池を設置致しました。
　情報収集や通信手段の確保に必要となるテレビやパソコン、スマート
　フォンなどに電力を供給できる蓄電池です。


セコム蓄電池

2019 年 1 月　大同生命保険様より帰宅困難者対策 5 点セットを従業員の人数分頂戴しました。

2019 年 11 月 11 日 (月)　事業継続力強化計画については、中小企業等経営強化法第 50 条
第 1 項の規定に基づき認定
2020 年 5 月　不織布マスク 5,000 枚を備蓄しました。
2020 年 6 月 16 日 (火)　TANITA「黒球式熱中症指数計 熱中アラーム」の設置とポスターを設置しました。
2020 年 7 月 2 日 (木)　空気清浄機「うるおいリッチ (22TKN)」を設置しました。
2020 年 7 月 22 日 (水)　富士倉 4.2Ah 大容量モバイルバッテリー「BA-155」を設置しました。
2020 年 8 月 18 日 (火)　京都会議が運用管理する「ガイドライン推進事業所ステッカー」が交付されました。
2020 年 11 月　CO2 の濃度計を導入しました。
2021 年 4 月　災害用の非常食(全社員 1 日分)を備蓄しました。
2021 年 4 月　新型コロナウイルス抗体検査(社員全員)
2021 年 7 月　自然災害リスクレポート
2022 年 3 月　抗原検査ペン 30 本を備蓄しました。
2022 年 11 月　安心救急ネット京都通信　43 号
2023 年 9 月　TEIKOKU NEWS weekly 9月18日号に掲載されました。
2023 年 10 月　安心救急ネット京都通信　44 号
2023 年 12 月　安心救急ネット京都通信　45 号
2024 年 3 月　安心救急ネット京都通信　46 号



TEIKOKU NEWS weekly 9月18日号

◆AED

2018 年 10 月　セコム AED 設置
※「セコム AED パッケージサービス」という、
AED のレンタルサービスを利用し、
　弊社の制作部に AED を設置しています。
　従業員の命を救う
　『その時への備え』が、安心に繋がります。
2018 年 10月 17 日 (水)
2019 年 2 月 25 日 (月)
2020 年 2 月 28 日 (金)
京都市消防局による
AED 講習を受講しました。


AED 講習の様子


AED 講習の様子

◆社内ドリンク無償化

本社移転に伴い、ドリンクの自動販売機が設置されました。
いつでも社員誰でも無償で飲むことができます。
(2018 年 2 月より実施して継続中です)

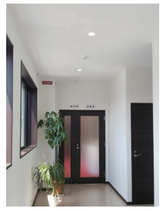


社内無償自動販売機

リサイクル推進

◆ 建 物 ＬＥＤ 化

弊社は社内の電灯を全て LED にして、省エネに取り組んでいます。
また、廊下やトイレ、更衣室等はスイッチを廃止し、センサーライトで LED 照明を自動制御しています。


廊下


トイレ


更衣室


センサー用切替スイッチ

◆ 防 音 壁 使 用

弊社の外壁・内壁は防音壁を使用しており、工場の印刷音などの騒音が外部に漏れないように配慮しております。

◆ ごみの分別の徹底・リサイクル

ごみの分別排出は、「混ぜればごみ、分ければ資源」として、私たちが出来る最低限の環境活動です。
弊社は限りある資源を大切にし、クリーンな地球環境を守るため、ごみの分別排出を徹底しています。

1. 用紙
紙ごみは、白紙、紙管、ダンボール紙、ヤレ紙に分別され、全てがリサイクル資源として再利用されています。
2. アルミ
リサイクル処理をし、金属材料として指定工場にて溶解処理されます。
3. 産業廃棄物
（株）カンポにて適切に処分しています。



紙（白紙・ダンボール）



紙（ヤレ紙）



産業廃棄物

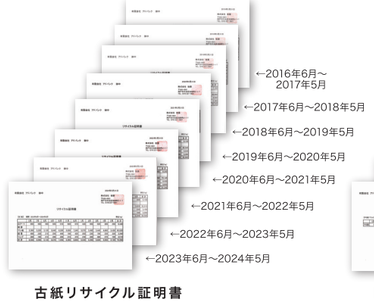

アルミ

古紙リサイクルの経年推移表

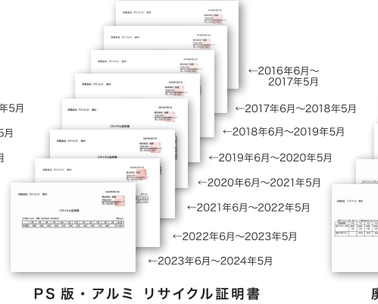
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
白アート kg	5,780	7,540	7,120	7,730	9,130	9,320	5,130	6,440
ヤレ紙 kg	49,040	65,630	68,800	62,940	65,540	73,140	52,510	65,920
紙管 kg	3,540	4,310	4,930	5,160	4,630	4,430	3,150	3,290
ワンプ kg	3,751	4,780	5,390	4,860	4,380	4,650	3,250	3,610
雑誌 kg	—	90	—	—	—	—	—	—
合計 kg	62,111	82,350	86,240	80,690	83,680	91,540	64,040	79,260

アルミリサイクルの経年推移表

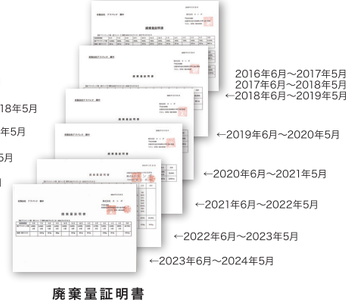
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
PS版 kg	2,710	4,090	3,670	3,450	3,130	3,380	2,720	2,960



古紙リサイクル証明書



PS 版・アルミ リサイクル証明書



廃棄量証明書

◆ 環 境 デ ー タ　※決算に合わせ6月～5月を1年として算出

インプット

エネルギー使用量（電気・ガス・燃料等）の経年推移表

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①電気 kWh	331,432	351,725	436,057	451,781	452,981	435,060	375,913	423,296
②水 ㎥	183	229	182	181	184	166	195	232
③ガス ㎥	49,050	54,712	61,174	58,984	58,743	57,050	52,438	57,910
④ガソリン l（リットル）	5,802	4,893	5,166	5,423	5,090	5,076	4,720	7,140
⑤軽油 l（リットル）	783	4,296	5,352	5,466	5,652	5,395	5,737	6,054
⑥インキ kg	17,540	24,540	29,244	30,366	29,248	29,920	25,675	25,692
⑦用紙 枚	77,051,200	91,770,400	107,424,600	103,852,800	99,729,000	95,790,600	76,778,400	81,943,800

アウトプット

CO_2発生量（電気・ガス・燃料等）の経年推移表

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①購入電気 kg-CO_2	146,493	155,463	192,738	199,688	200,218	192,297	166,154	187,097
②水道（上下水） kg-CO_2	127	159	126	125	127	115	135	161
③都市ガス kg-CO_2	112,325	125,291	140,089	135,074	134,522	130,645	120,084	132,614
④ガソリン kg-CO_2	13,461	11,352	11,986	12,582	11,809	11,777	10,951	16,565
⑤軽油 kg-CO_2	2,021	11,084	13,809	14,103	14,583	13,920	14,802	15,620
⑦古紙リサイクル kg-CO_2e	211,985	281,061	294,338	275,395	269,798	297,307	207,818	259,286
⑧PS版・アルミリサイクル kg-CO_2e	22,222	33,538	30,094	28,290	25,666	28,392	22,848	24,864

廃棄物

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①廃油・廃ウエス kg	260	820	1,140	924	1,036	1,835	890	670
②廃プラスチック l（リットル）	8,400	8,100	7,800	29,850	36,000	50,000	38,850	40,750

※2018年4月より本社工場に移転しています。

算出基準

①購入電力
全部門の総消費量(kWh)×排出係数(0.442kg-CO_2/kWh)=kg-CO_2
「温対法」算定・報告・公表制度　平成29年度分報告書用　電気事業者別のCO_2排出係数

②水（上下水道）
全部門の総消費量(㎥)× 排出係数(0.69kg-CO_2/ ㎥)=kg-CO_2
京都府「地球温暖化対策報告制度」報告書用　係数一覧表

③都市ガス
全部門の総消費量(㎥)× 排出係数(2.29kg-CO_2/ ㎥)=kg-CO_2
「温対法」算定・報告・公表制度　燃料の使用に関する排出係数
参考１（算定省令第２条第３項、第４条第１項、別表第１及び別表第５）

④ガソリン
全部門車両の総消費量(L)× 排出係数(2.320kg-CO_2/L)=kg-CO_2
「温対法」算定・報告・公表制度　燃料の使用に関する排出係数
参考１（算定省令第２条第３項、第４条第１項、別表第１及び別表第５）

⑤軽油
全部門車両の総消費量(L)× 排出係数(2,580kg-CO_2/L)=kg-CO_2
「温対法」算定・報告・公表制度　燃料の使用に関する排出係数
参考１（算定省令第２条第３項、第４条第１項、別表第１及び別表第５）

⑥インキ
社内印刷に使用したインキ使用量　廃インキ（残肉：不要となったインキ）の排出

⑦用紙
LCA 日本フォーラム参照、総排出量(kg)× 排出係数(3.413kg-CO_2e/kg)=kg-CO_2e
自社購買用紙使用量、紙リサイクル
一般廃棄物（色合わせに使用したリサイクル不可能な用紙・
リサイクル不可能なピク抜きの屑・オフィスからの紙ゴミ）の排出

⑧PS版
FUJIFILM Digital Thermal Plate 参照(0,24)
総排出量(kg)× 排出係数(8.4kg-CO_2e/kg)=kg-CO_2e

（温対法）地球温暖化対策の推進に関する法律

CO_2排出量を算出する「排出係数」は、温対法か京都府のガイドラインが定る値を用いています。この「排出係数」は固定の値ではなく、年度ごとに変動することがあります。上記の表の CO_2排出量はそれぞれ各年度の「排出係数」に基づいて算出しております。
※ 2021 年より KODAK から FUJIFILM に PS 版変更

CFP情報シート

1. 製品名称
FUJIFILM Digital Thermal Plate

2. 製品の主な構成
支持体 高純度アルミニウム
感光層 機能性樹脂
包装 合紙、台紙、段ボール

3. 製造業者 FFGS

4.CO2 排出量 (2019 年)

	CO_2排出量* kg-CO_2e/m^2*			
厚み mm	0.15	0.20	0.24	0.30
原料調達段階	-	-	7.5	-
生産段階	-	-	0.82	-
流通・販売段階	-	-	0.015	-
使用維持段階	-	-	0.041	-
廃棄・ﾘｻｲｸﾙ段階	-	-	0.052	-
合計	-	-	8.4	-

* 本情報シートは、一般社団法人
産業環境管理協会が公表している下記の
商品種別算定基準 (PCR) に基づき
計算した CO2 排出量を掲載しています。

対象製品：平版印刷用 PS 版

環境保全への取り組み

◆無現像処理

製造部門では環境に配慮し、
CTP（KODAK MagnusQ400）という無現像処理機
を使用しています。無現像処理のメリットは、現像液も水も
使用しないので、廃液を出すことがありません。

CTP(KODAK MagnusQ400)



持続可能な社会のために
Process Free
この印刷物は、プロセスフリーテクノロジーを採用しています。
印刷工程から現像処理をなくし、化学薬品や水を使うことなく、
環境にやさしい持続可能な社会の実現を目指しています。

Process Free

2018年1月
KODAK SONORA XJ 完全無処理プレートへ全面切替。
（油性印刷とLED-印刷対応）

◆LED-UV印刷の採用

UV印刷とは紫外線を照射する事で硬化する
UVインキを使う印刷方式です。
現在主流の油性印刷とは色々と異なる点があります。
弊社では、照射する光源にLEDを使用したLED-UV
印刷機を導入しております。
B3サイズが印刷できるLED-UV輪転機（高速両面
8色小森B3輪転印刷機）を導入したのは弊社が国内
初となります。

LED-UVインキ
自動軽量装置（柴橋RW-1S）



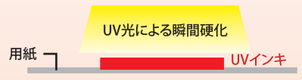
高速両面8色
小森B3輪転印刷機
（油性・LED-UV兼用機）



◆UV印刷のメリット・デメリット

【メリット】

1. インキが瞬間的に乾燥・硬化（約0.2秒）するため、通常インキでは浸透せず乾燥しにくい化学合成紙や蒸着紙、フィルム等にも印刷することが可能
2. 乾燥待ち時間が不要なので、納期対応面で有利
3. 乾燥時に利用する印刷用パウダー（工業用澱粉の微細な粒子）が必要なく、オンデマンド機で後から刷り込みをする場合の対応がスムーズ
4. インキ皮膜が硬いため、傷が付きにくい
5. 有機揮発物系の溶剤を含有しないため、環境に優しい
6. 通常型UVランプは照射時にオゾンが発生し、特有の匂いが生じるので排気ダクト等の設備が必要で、ランプ自体が高温（800度程度）になり、環境面での負荷が高い。しかしLED-UVランプを使用するとオゾンが発生しない波長のUVを使用しているため、ダクトが必要なく、発熱量も抑制できる。



【デメリット】

1. 通常のオフセット印刷と比較し、色調の再現性が若干劣る
2. 瞬間乾燥硬化するため、インキ皮膜に平滑性がなく、仕上がりの光沢性にやや欠ける
3. インキ皮膜が硬いため、背割れが発生しやすい
4. UVランプや印刷機本体、付帯設備、UVインキが高価なため印刷コストが上昇

◆クリオネマークゴールドプラス認証取得

「クリオネマーク」とは、環境にやさしい生産活動に取り組む印刷業界のシンボル、「環境保護印刷マーク」の愛称です。
「刷版工程」と「印刷工程」の各工程で環境の保護を考慮していることを示します。
クリオネマークは、環境保護印刷推進協議会（E3PA）によって定められた「認証ステータス登録基準」に基づき「ゴールドプラス」「ゴールド」「シルバー」の3段階のステータスが設けられています。
弊社では最高ステータスの「クリオネマークゴールドプラス」を取得しております。



環境保護印刷
ゴールドプラス



環境保護印刷
ゴールドプラス登録証

◆植物油インキの使用（油性印刷）

「植物油インキ」とは
植物油インキ（Vegetable Oil Ink）は、大豆油やなたね油などの食用油のほか、亜麻仁油や桐油などの非食用油を含めた植物油全般を原料とするインキです。
植物油インキは石油系のインキと異なり、VOC（揮発性有機化合物）を削減し大気汚染を抑制するだけでなく、ゴミとして埋め立てられた際にも地中でそのほとんどが分解されるため、環境に優しいインキです。

VEGETABLE OIL INK
ベジタブルオイルインクマーク

◆LED-UVインキの使用（LED印刷）

「LED-UVインキ」とは
LED-UVインキは、LEDから出る紫外線で光化学反応を起こし、液状から個体へ秒単位で硬化し、皮膜形成を行うインキです。
インキの主成分は、光重合性樹脂、光重合開始剤、着色料および助剤で、原則として有機溶剤は含みません。
また、弊社のLED-UVインキは環境に優しい「VOC FREEインキ」でもあります。
VOC（Volatile Organic Compounds）とは揮発性有機化合物のことで、大気汚染の原因や土壌汚染や地下水汚染を招く有害物質です。弊社はこれらの有害物質を排出しないLED-UVインキを使用しています。

VOC FREE
VOCフリーマーク

※弊社のVOC FREEマークはアメリカ合衆国環境保護庁（EPA）の定義に準じております。

2022年3月　令和3年度「産廃処理・3R等優良事業場認定制度」の認定
2022年9月　ツースター認定
2023年2月　環境推進工場認定
2023年4月　令和4年度「産廃処理・3R等優良事業場認定制度」認定（2年連続認定）
2024年2月　令和5年度「産廃処理・3R等優良事業場認定制度」認定（3年連続認定）









省エネ大賞

2019年 9月11日
一般財団法人省エネルギーセンター主催の
令和元年度省エネ大賞西日本地区発表大会にて
「優秀プレゼンテーション賞」受賞

2019年 12月23日
2019年度 省エネ大賞 省エネ事例部門
中小企業長官賞 受賞
テーマ
「新しいインク素材と乾燥技術による印刷工場の省エネルギー」

ENERGY CONSERVATION GRAND PRIZE
2019年度
省エネ大賞
（省エネ事例部門）
主催：一般財団法人省エネルギーセンター











メディアに紹介されました

省エネルギーに掲載









エネチェンジ Biz に掲載



TEIKOKU NEWS weekly に掲載





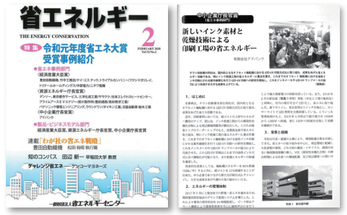
印刷新報に掲載



◆ 環 境 配 慮 印 刷

弊社の環境配慮印刷は様々なメディアで取り上げて頂いています。

●Pjweb news（2017 年 10 月 16 日・2019 年 1 月 8 日）
●印刷ジャーナル（2017 年 10 月 25 日・2019 年 2 月 15 日）
●印刷新報（2017 年 10 月 26 日・2019 年 1 月 17 日・2020 年 2 月 27 日）
●印刷タイムス報（2017 年 11 月 10 日・2019 年 3 月 30 日）
●印刷界（2017 年 12 月）
●印刷情報（2018 年 8 月）
●日本印刷新聞（2019 年 2 月 11 日）
●日刊ケイザイ（2019 年 3 月 4 日）
●TEIKOKU NEWS weekly（2019 年 4 月 1 日・2019 年 9 月 9 日・2020 年 2 月 17 日・2022 年 11 月 14 日）
●省エネルギー（2020 年 2 月・2020 年 5 月）
●エネチェンジ Biz（2020 年 2 月 13 日）



省エネルギー



TEIKOKU NEWS weekly





日本印刷新聞



印刷業界ニュース
Pjweb news


印刷タイムス報


印刷新報



印刷ジャーナル


日刊ケイザイ



印刷情報



印刷界

社 会 貢 献 活 動

◆ 寄 付

舞鶴市長より感謝状を頂戴しました。
舞鶴市 企業版ふるさと納税「引き揚げの史実継承プロジェクト」に
100 万円寄附したことによるものです。







舞鶴引揚記念館　http://m-hikiage-museum.jp


感謝状

有限会社アドバンク
代表取締役　渡邉　功様

あなたは本市の「引き揚げの史実継承プロジェクト」に御理解を寄せられ企業版ふるさと納税をご寄附くださいました
ここに深く感謝の意を表します

平成三十九年四月二十四日
舞鶴市長　多々見良三

2018 年 4 月 24 日　舞鶴引揚記念館 30 周年オープニングセレモニー



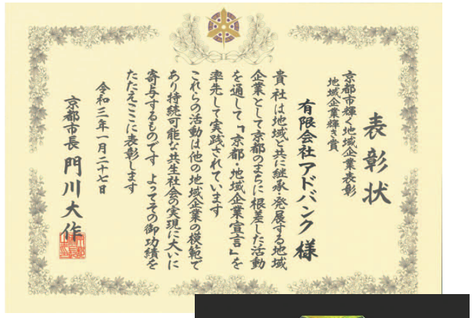






◆ 2021 年 1 月

令和 2 年京都市輝く地域企業表彰を受賞しました。


表彰状

京都市輝く地域企業表彰
地域企業輝き賞

有限会社アドバンク 様

貴社は地域と共に継承・発展する地域企業として京都のまちに根差した活動を通して「京都 地域企業宣言」を率先して実践されています
これらの活動は他の地域企業の模範であり持続可能な共生社会の実現に大いに寄与するものです よってその御功績をたたえここに表彰します

令和三年一月二十七日
京都市長　門川大作



◆ 2020 年 7 月

レジリエンス認証を取得しました。


レジリエンス
認証・登録証

認証・登録番号　E0000069
認証・登録団体　有限会社アドバンク
京都市南区吉祥院観音堂町53番地

業　種　E.製造業
認証・登録日　2020年7月29日（2020年度 第1回 認証）
有効期限　2022年7月28日

上記、認証・登録団体は「国土強靭化貢献団体の認証に関するガイドライン（2018年7月）」の事業継続および社会貢献の要求事項に適合していることを証します。

一般社団法人 レジリエンスジャパン推進協議会
会長 広瀬道明



社会貢献活動

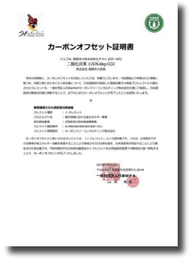
◆普通救命講習（AED講習）

2018年 10月17日（水）
2019年2月25日（月）
京都市消防局によるAED講習を受講しました。応急手当のうち、AEDの使用方法を含めた成人に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫と人口呼吸）、止血法及び異物除去法等を学びました。



◆カーボンオフセット事業

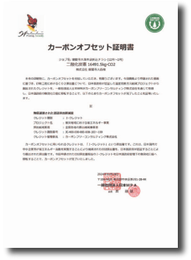
（株）銀閣寺大西　様
2023年９月　京都初 折込チラシでのカーボンオフセット証明書発行
2023年12月　折込チラシでのカーボンオフセット証明書発行
2024年３月　折込チラシでのカーボンオフセット証明書発行



2023年９月



2023年12月



2024年３月



◆社屋外壁告知

弊社では、目立つように「AED設置施設」のシールを駐車場の横と入り口ドアの横の２箇所に掲示しております。





◆自主防火事業所表彰

2019年３月３日（日）
京都市南消防署長より自主防火事業所表彰をいただきました。
『自主防火事業所表彰』とは、京都市長・消防局長より、地域の防火・防災活動の推進や事業所の自主防火管理などへ尽力し、災害に強いまちづくりに貢献した市民および事業所などへ贈られる表彰の１つです。自主防火管理などについて継続的に尽力し、顕著な功績を挙げた事業所に表彰されます。





◆工場周辺の歩道清掃などの環境美化活動に取り組んでいます。





2021年８月
◆京都 SDGs 私募債『未来にエール』 ～次世代を担うこどもたちへ～

2022年４月　FFGS カーボンオフセット証書授与
2023年１月　FFGS カーボンオフセット証書授与
2024年４月　FFGS カーボンオフセット証書授与





